

シラバス

教 科	科 目	単 位 数	学 年	コ ー ス	組
理 科	N 化 学	4	3	NP	10・11組

教科書	実教出版 化学academia	副教材	第一学習社 セミナー化学基礎+化学(昨年度継続)
			数研 フォトサイエンス化学図録(昨年度継続) 旺文社 化学の良問問題集

科目の目標	1. 物質とその変化について、興味・関心を探究心にまで高め、知的好奇心をもって問題を見だし、主体的に解決しようとする意欲を高める。
	2. 探究の過程をたどることによって、科学の方法を修得し、化学的に探究する能力や態度を身につける。
	3. 化学的な事象に関する基礎的な知識および概念・原理・法則を深く系統的に理解し、主体的・意欲的に観察、実験などに取り組む。

科目の概要	「化学基礎」との関連を図りながら、物質の構造、性質に関する発展的内容を取り扱う。
	観察・実験などを通して、化学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、
	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、物質の構造、性質についての知識を養う。

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」 ③「論理的思考力」 ④「原因分析力」 ⑤「傾聴力」 ⑥「受信・発信力」	⑦「協働力」 ⑧「行動力」 ⑨「自己管理能力」 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	「理論化学」、「無機化学」及び「有機化学」、「高分子化合物」についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を科学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付ける。	物質の構造や化学的性質・物理的性質を多面的に捉え、論理的に考察することができる。また、実験結果から帰納的に考察することができる。事象の特徴を的確に表現することができる。表・式・グラフを相互に関連付けて考察するとともに、適切な手法を選択しながら分析を行い、問題の解決のための過程や結果を判断することができる。	粘り強く考え科学的根拠に基づいて判断できる。問題解決の過程を振り返って考察を深められる。評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評 価 の 方 法	定期試験の得点	定期試験の得点および課題提出や出席状況等を含めた総合評価	課題提出や出席の状況等

シラバス

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	4章 有機化合物 4節 芳香族化合物 5章 高分子化合物 1節 高分子化合物の性質 2節 天然高分子化合物_糖 【1学期 中間試験】 5月18日～21日	<ul style="list-style-type: none"> ・芳香族化合物の反応や化学的性質を深く理解する。 ・天然高分子化合物の構造・性質・反応性について、単量体の官能基のはたらきとの関連性を見だし、論理的に考察する。
	5章 高分子化合物 2節 天然高分子化合物_アミノ酸とタンパク質/核酸 3節 合成高分子化合物 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	<ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成する有機化合物にはどのようなものがあるか、また組成や構造がその性質とどのように関連しているかを理解する。 ・生体内のタンパク質の例として、酵素の特徴や性質について理解を深める。また、核酸の構造やはたらきについて学習する。 ・合成高分子化合物を用途によって分類し、それぞれの材料の組成や構造がその特性とどのように関連しているのかを理解し、化学的な理解を深める。
2 学 期	入試問題演習 ・理論化学の演習 ・無機物質の性質の演習 【2学期 中間試験】 10月13日～16日	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストや一般入試において、確実に正解を導く力を身につけ、得点力を養成する。 ・問題演習を通じて、無機物質の構造や性質について、より深い論理的思考力を養成する。
	入試問題演習 ・有機化学の演習 ・高分子化合物の演習 【2学期 期末試験】 12月1日～7日	<ul style="list-style-type: none"> ・共通テストや一般入試において、確実に正解を導く力を身につけ、得点力を養成する。 ・問題演習を通じて、有機化合物や高分子化合物の構造や性質について、より深い論理的思考力を養成する。
3 学 期	特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	<p>受験講座 大学入試問題に対応できる力を身につける。</p> <p>教養講座 各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。</p>